社会福祉法人つどいの家　仙台つどいの家通信　隔月25日発行

とんがらし通信

さわやかな秋風って

きもちい～♪

No.230

～主な内容～

- 施設長コラム　・２５周年イベント
- バザー　・新職員紹介　・研修報告
- 活動報告（どこまでも歩こう、芋煮会、星を巡る絵画への旅、楽天観戦）
- 職員コラム　　ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者　山口収
発行日　２０１７年１１月２５日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町３丁目12-16
Tel 022(293)3751　Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.tsudoinoie.or.jp

隔月連載　施設長コラム

注文をまちがえる料理店　の巻

宮沢賢治の『注文の多い料理店』が大好きで、子供の頃夢中になって読んでいました。山の空気がかわる描写にドキドキし、犬の死にも金銭的な価値観しか当てはめない青年紳士に怒りを覚え、山猫軒の扉が１枚いちまい開いていくたびにワクワクしたものでした。。。どうして突然こんなことを思い出したかというと、先日テレビから『注文をまちがえる料理店』という言葉がとびこんできたからでした。

『注文をまちがえる料理店』。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、これが実にすてきな取り組みなのです。現在のところ期間限定での出店ですが、人気のビストロの店舗を借り切って一流店のシェフがボランティアで作った料理を提供するこの料理店。ウェイター・ウェイトレスは全て認知症を抱えた方たちなのです。テーブルごとに担当してくれるウェイター・ウェイトレスさんがいるのですが、お客さんを案内している最中に何をしていたのかを忘れてしまって、自分が席について話し込んでしまったり、ホットコーヒーにストローをつけて提供してしまったり。オーダーされたメニューと違う料理を運んでしまうこともしばしばなのです。つまり『注文をまちがえる料理店』というわけ。メニューの取り違えの際には、正しい料理を運びなおしてもらっても、そのままいただいてもいいそうです。オムライスを注文したのに担々麺がやってきたりしても、お客さんたちもウェイターさんもすまして笑っています。この光景が本当にすてきだなと思いました。

そもそもこの企画、テレビディレクターをしていた小国士朗さんが認知症高齢者のドキュメンタリー番組を手掛けていたときに思いついたそうです。番組の舞台になったグループホームでは、認知症の方たちも買い物・料理・洗濯と、自分でできることはすべてやっていました。ある日、夕食にハンバーグを作っていたはずが、出来上がってみると餃子だったことがありました。小国さんは『あれ？今日はハンバーグじゃなかったっけ？』と思ったものの、その言葉をグッと押さえました。『この言葉を言ってしまうと、なんだか気持ちが窮屈になってしまうんじゃないか』『この言葉を突き詰めた先に、誰もが今よりちょっと呼吸のしやすい社会の姿があるんじゃないか』『まちがっちゃったけど別にいいよね』と思ったからです。『法律や制度を変えることももちろん大切ではあるけれど、私たちがほんのちょっと寛容であることで解決する問題もたくさんあるのではないか。まちがえることを受け入れる、まちがえることを一緒に楽しむ。そんな新しい価値観をこの料理店から発信したい』と小国さんは言います。テレビから流れたこの言葉が、耳から離れないでいるのです。

『ノーマライゼーション』『バリアフリー』『ユニバーサルデザイン』…しょうがいや年齢の枠を超えて、誰もが暮らしやすい社会を作っていこうと言われて久しいですが、日本人の心はその理念に逆行しているのではないかと思わされることも少なくありません。『目先の損得』や『自己の利益』のみを考えて引き起こされる事件・事故が後を絶ちません。そんな中で小国さんの言葉や取り組みはいっそう輝きを持って私たちに訴えかけてくるように思うのです。

先の選挙は残念な結果であったと個人的に思います。安倍首相は第４次内閣発足にあたって『経済優先政策をいっそう加速する』と述べました。国の経済力を確かなものにする、それは全く否定するものではありません。しかし、経済優先のみの社会からはこぼれてしまいかねない、生きづらさを抱えた人たちに寄り添う『優しさ』や『寛容さ』や『緩やかさ』を取り戻すことこそ、今の日本に必要なことではないかと思うのです。そしてその先に、本当の意味での『共生社会』『我が事丸ごとの地域福祉』が見えてくるのではないでしょうか。

（管理者　山口　収）

仙台つどいの家バザー開催!!

今年の仙台つどいの家バザーは、雨という予報で「ハラハラ」しましたが、当日は雨粒が落ちることなく無事開催することが出来ました。ご来場頂いた皆さまありがとうございました。

10月14日（土）に行われた「仙台つどいの家バザー」は盛況のうちに終わりました。毎年仙台水産さんより提供して頂く新鮮なサンマを炭火で焼いて販売しています。今年は、例年になくサンマの水揚げが少ないという情報に、ここでも「ハラハラ」。サンマを楽しみにしてくれているお客様もたくさんいらっしゃるのでなんとか…と思っていました。不漁で水揚げは例年の半分というニュースが流れ、「提供はないかも」と諦めておりましたが、仙台水産さんから「今年も提供しますよ！」とお返事を頂きました。もちろん完売。その他、各企業様や個人のお宅からもたくさんの提供品を頂きました。

昨年度から、震災前に仙台つどいの家があった泉区南光台地域へもチラシ配布を行っています。南光台から幸町に移転してもう４年が経ちますが、「南光台にあったときにもバザーに行っていたのよ」「どこに引っ越したの？」など気にかけて頂き、地域とのつながりを改めて感じました。「ハラハラ」もありましたが、売り上げは合計金額：255,851円となりました。ご協力頂きありがとうございました。（記:佐々木）

おかげさまで２５歳になりました！！

皆さんは、２５歳と言ったらどんなイメージを持ちますか？社会人として仕事にも慣れてくる頃で、職場の中でも責任あるポジションで力を発揮し始める時期になるのだと思います。今年、社会福祉法人つどいの家は、法人設立２５周年を迎えました。今まで支えてくださった地域の方々や全国の志を同じくする事業所の皆様と共にお祝いしたいと考え、「法人設立２５周年記念式典」を開催いたしました。

今回の記念式典は３部構成としました。まず「つどいの家の歩み」と題した映像を用いて、この２５年間を振り返りました。写真とナレーションを使った年代ごとの歩みが良く分かる映像になりました。続いて「記念シンポジウム」として下郡山理事長を進行役に、日浦美智江さん・宮代隆治さん・黒田秀郎さんの３名から「重いしょうがいがあっても地域で生きるを支援する」をテーマでお話をいただきました。最後は、「ミライへノコトバ」と題した映像で、これから先、法人が取り組んでいこうとしている方向性を示しました。午後からは懇親会を行い、県内外の法人の皆さんとの懇親を深めたり、かつての利用者さん・ご家族や元職員との懐かしいひと時を過ごすことが出来ました。

参加して下さった方々からは、「職員達の思いが入っていてとても良かった」という有難いお話をいただきました。法人として２５歳となった今、利用者さんとともに地域の中でどんな役割を発揮していけるのかを考えながら、次の２５年に向けて歩み出して行きたいと思います。お忙しい中ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。（記：佐々木）

どこまでも歩こう

皆さん、秋といえば何を思い浮かべますか？　そう!!もちろん散歩ですよね。というわけで、歩くの大好き工藤望さんと、一日外出「どこまでも歩こう」に行って参りました。

幸町の仙台つどいの家を出発して、いざ西へ。望さんの思うがまま、気の向くままに、どこまでも歩いて行きます。利府バイパスを県庁方面に、そこから定禅寺通りを西に進んで、途中、せんだいメディアテークや西公園に立ち寄って、最後、東北大学の川内キャンパスまで約 7 キロの道のりを軽快に歩いていきました。歩いている間、望さんは建物を見上げてニコニコしたり、手を叩いて声を上げたり、最上級の喜びを見せています。その後、川内キャンパスを散策して、帰りは、青葉通りを東に向かって、途中、SS30 の展望台から仙台の街並みを見下ろしたり、ドトールに寄ってコーヒーを飲んだりして、盛りだくさんの一日を過ごしました。帰り道は、さすがに疲れてペースは落ちましたが、無事仙台つどいの家に戻りました。

普段、他の利用者との関係から、我慢していることも多いであろう望さんですが、『好きなことをとことんやる』ということが、望さんにとって一番しあわせなのだなと改めて実感しました。

『しあわせは歩いてこない♪だから歩いてゆくんだね♪』

またいつか、しあわせを探しに望さんと、どこまでも歩いて行きたいです。（記：高根）

～星を巡る、絵画への旅～

10 月 4 日(水)に、蔵王町ふるさと文化会館にて開催された、加川広重さんのアートプロジェクトである「星を巡る、絵画への旅」という展示会に行ってきました。メンバーは、佐々木七恵さん、滝口奈美さん、奥津欣也さん、品田貴文さんの 4 名で、いざ蔵王へ！！蔵王の温泉街周辺で昼食を摂ってから、蔵王町ふるさと文化会館へ向かいました。『巨大画が見られる!!』という噂を聞きつけて出かけたメンバー達。どのくらい大きいのかな？とみんなでイメージを膨らませ、ワクワクしながら会場に到着しました。

ホールの中へ入ると、高さ 5.4m、幅 16.4mの大きな作品「全天星座図」と「星団の誕生」という２つの絵画が展示されていました。迫力満点な大きいキャンバスに、きれいな色使いで描かれた作品を、七恵さんは、目をまん丸くして驚いた表情で見ていました。火の鳥のような白鳥座、虹色の翼を持ったペガスス座など、迫力満点な絵をみて、メンバー全員で銀河を旅しているような不思議な気分になりました。

文化会館の職員の方々にも親切にして頂き、畳で横になって休憩させてもらいました。本当にありがとうございました。秋といえば・・・『芸術の秋』も良いものですね♪（記：佐藤唯）

読書の秋…実りの秋…芋煮の秋?!

木々の葉が落ち始め、少しずつ冬が近づいてきていますが、秋は美味しい食べ物がいっぱい!!ということで、10月25日(水)にもみじ、さんしょ、けやき、くるみグループ合同で芋煮会をしました!当日はあいにくの曇り空…でしたが、利用者と職員合わせ総勢21名で水の森公園へ。火をおこし、お鍋に野菜、お肉、調味料、ラーメン(?!)を投入し、完成を待ちます。かまどに近づき、豪快に薪をくべる方、広い公園内を散歩する方、職員と一生懸命お鍋を混ぜる方…それぞれが思い思いの時間を過ごし、芋煮「ラーメン」の出来上がりです。もみじグループの山中双美子さん、東成児さんはおいしかったのかあっという間に完食し、おかわりをしていました。デザートに職員の実家で穫れた安納芋で焼き芋を作り、「甘くておいしい~!」と皆笑顔でほおばっていました。1日を通して肌寒い気候でしたが、グループの垣根を越えた楽しい外出活動になりました。12月は何やら「おでん」、「カレーうどん(麺から)」を作るようで…? 次の機会を楽しみに待ちたいと思います。(記:伊達)

GO! GO! ゴーゴー イーグルス

楽天試合観戦を決めたのは、いつもお父さんとテレビでナイター中継を観て応援をしている慎一さん。夜の時間に家族と球場で応援することはなかなか難しいので、本人と計画を立てて行ってみようということになりました。同じグループの璃子さんも同じように楽天が大好きで応援しているので、「一緒に行こうよ」と声をかけると「行こう行こう」となりました。球団事務局に連絡をして、車椅子専用席や駐車場・トイレなどについて何度か相談し、スムーズに観戦できるように準備を整えてチケットを購入。二人はチケットをみてニヤニヤしていました。試合当日、早めの夕飯を済ませて、いざ球場へ。スケールの大きさと歓声の大きさに二人のモチベーションもアゲアゲで、全身を使って喜んでいました。当時はＣＳを賭けて順位を落とせない緊迫感のある試合で、見応えバッチリ。連勝がかかった大一番でピッチャー美馬投手。「絶対に勝ってねー!」とみんなで応援した結果は…

なんと楽天の勝利(ヤッター ^-^)応援に行って勝つと嬉しさ倍増ですね。その日は美馬投手の誕生日でもあったようで、楽天ファンも嬉しさＭａｘになっていました。

今回、夜間外出をすることで、日中とは違った一面を見ることができましたし、夜の利用者さんのコンディションを知ることができました。いろいろ考えているよりも、実際に経験をすることって大切ですね。 (記:有住)

☆新職員紹介☆

さんしょ看護師

早坂（はやさか）　康子（やすこ）さん

★好きなこと・趣味

・スポーツ観戦（サッカー、野球等）
次男がベガルタ仙台 JY に在籍しています。娘は新体操、ハンドボールをしています。
週末の子供たちの試合や大会の応援も楽しみです。
(*^_^*)中３の長男もサッカーをしていたのですが、今は受験勉強中です。イライラしてあまり口聞いてくれません。(*_*)

・お酒を飲む事　家事が終わってから、
自分へのご褒美ワイン♡

・読書

★好きな歌手・歌

・DREAMS COME TRUE・絢香・HY

★好きなテレビ

・NHK ハートネット TV

★ひと言アピール

病院勤務１０年、訪問看護師を６年経験してきました。４０歳を目前にし、ふと立ち止まり、「私は何がしたいのか？何ができるのだろう？」と焦燥感にかられました。じっくり考え、「未来につながることがしたい」と漠然とした目標をかかげました。その中で「福祉」と「こども」に携わっていこうと決めてこちらにお世話になることになりました。今年はとにかく、「知る」ことを目標にかかげ、いろいろと学んでいきたいです。わからないことが多いので、ご迷惑をおかけすることがありますが、よろしくお願い致します。

研修報告

「自閉症の方々への生活支援」
－当事者の世界を大切にした支援の在り方を探る－

東京都通所活動施設職員研修会で仙台つどいの家の実践発表を行いました。第１部では、ＡＳＤ（高機能自閉症、アスペルガー症候群）という障害について、当事者でもある尾崎ミオ氏の講演がありました。尾崎さんは、ＡＳＤとは脳のメカニズムの違いによって生まれる障害であるのに、「社会性の障害」と捉えられてしまい、誤った社会適応を促されることがあると話していました。多数派とは違う文化、表現方法、発達プロセス、ライフスタイルを持つ可能性のある人たちということを知ること。当事者にとっては、長い目でみれば社会適応よりも人生を楽しむために必要な力を身につけることのほうが大切なこともある。日本社会は物事をはっきりと伝えず、「空気を読む」「雰囲気で察する」といった控えめな文化が根強く、『かなり生きづらい社会』とおっしゃっていました。その上で「彼らの認知構造は変わらないという前提で、多数派の認知の仕方を知識として学んでもらう」「それらを学んでほしいのは彼らが間違っているからではなく、そのほうが互いに不都合が少ないから」という尾崎さんの言葉には重みが感じられました。障害の有無に関わらず誰しも独自のこだわりや考え方を持っているところはあると思います。人はそれぞれ違い、多数派や少数派といった考えの狭間で揺れながら、どちらかに群れながら生きているのではないでしょうか。一人ひとりの個性・特性を許し合い、異なる価値観を愉しめる人が増えたら、この社会ももっと豊かになるのではないかと考える機会になりました。

第２部の実践発表では、昨年行なった「すてーじ」の映像を通して支援の在り方を共に考える場を設けていただきました。当日ハプニングはありましたが、本人主体や意思決定支援などつどいの家が大切にしてきたことを見て感じてもらえたのではないかと思います。このような機会を与えて下さった武蔵野の本庄さんにはとても感謝しています。ありがとうございました。　（記：鈴木）

親子クッキング

１０月２１日、親子クッキングを開催しました。今回作ったのはピザとかぼちゃプリンです。参加者は総勢１２名でした。

最初にかぼちゃプリンを作りました。親子参加は１組ということでかぼちゃプリン作りは全てお任せしてみました。フードプロセッサーに牛乳と熱を加えて柔らかくしたかぼちゃを入れて混ぜたのですが、量が多かったのか牛乳がフードプロセッサーから漏れるというアクシデントが発生！少しパニックになりましたが、なんとか混ぜることができました。混ぜた生地を容器に慎重に流し込む男の子とその様子を優しく見守るお父さんと利用者さん。あたたかい雰囲気でした。

かぼちゃプリンを冷蔵庫で冷やし固めている間にピザ作りがスタート。ピザ生地はとてもペタペタしていて普段パン生地を扱っている職員や利用者さんでも扱いが難しかったです。悪戦苦闘しながらピザ生地を伸ばし、トッピングに移りました。今回はツナマヨポテトとトマトソースの二種類を作るため、トッピングはベーコン、ピーマン、コーン、ゆでたまごなど様々な具材を用意しました。バランス良く具材を並べる方、とにかくチーズを大量に載せる方など人によって様々でした。トッピングが終わったものから順に焼きはじめ、焼いている間にかぼちゃプリンにデコレーションをしました。チョコペンで顔を描いたり、ホイップクリームでぐるぐると円を描いたりしていました。ピザが焼きあがるとかぼちゃプリンと一緒にショップに運び、皆で一緒に食べました。自分で作ったピザとプリンを皆さんおいしそうに食べていました。

（記：佐藤絵）

職員コラム　松原聡太さん

ヴェネツィアに行ってきた！

半年前に、「俺の５か年計画」という題名で５年のうちに色んな夢を叶える計画についてのコラムを書きました。そのうちの一つ、高校生からの目標である「ヴェネツィアに行く」を叶えてきました。１０月の中旬に成田からトルコを経由してヴェネツィアに行きました。初めての海外旅行で、しかも一人旅でイタリア語も英語も話せませんでしたが、小学生レベルの英会話でなんとか乗り継ぎも出来ました。ヴェネツィアといえば町に逆Ｓ字の大運河が流れているイメージがありますが、とにかく路地が迷路の様に入り組んでいます。路地には仮面屋、酒場、ジェラート、パスタ屋などがありましたが、特にパスタとワインが美味しかったです。パスタの麺も数種類から選べて、特に「パッパルデッレ」というきしめん状の麺がもちもちで美味しかったです。ワインは、赤ワインが濃厚で美味しかったです。イタリアでは水より安い値段で売られていて、日本に帰った後もイタリアのワインを買って飲んでいます。

ヴェネツィアは広くて迷路みたいなので、名所へは「ヴァポレット」という水上バスで移動します。英雄ナポレオンが「世界で一番美しい広場」と言ったサンマルコ広場はとても美しく、特に高さ９９ｍの大鐘楼から臨むサンマルコ広場は海や中世の建物とマッチして息をのむ絶景でした。広場の中のカフェラテ発祥の店「カフェフロリアン」では、外のテラス席で世界一美しいサンマルコ広場を眺めながらカフェラテを飲み、幸せな時間を過ごしました。

そんなこんなであっという間に時間が過ぎ帰国しました。ヴェネツィアは想像以上に美しい街でした。３年以内にもう一回行きたいと思います。次行くときのためにこれから英会話教室に通い、日常生活レベルの会話は英語でできるようにしたいと思います。

information

お知らせ

スケジュール schedule

12月

１日(金)新任職員研修
６日(水)衛生委員会、防災委員会
７日(木)チーフ会議、生け花①
８日(金)実践報告会『すてーじ』
１０日(日)法人新職員採用試験
１１日(月)無線訓練
１４日(木)音楽療法①
１８日(月)BB モフランさんクリスマス会
１９日(火)施設懇談会
２１日(木)職員会議、音楽療法②、生け花②
２３日(土)休日開館日
２５日(月)ケース会議 13:30 降所
２６日(火)経営会議
12/29 日(金)～1/3(水)まで休館日

1月

１０日(水)衛生委員会
１１日(木)無線訓練、音楽療法①、チーフ会議
１６日(火)施設懇談会
１８日(木)成人を祝う会
２２日(月)職員会議
２３日(火)チーフ会議
２５日(木)経営会議、音楽療法②
２６日(金)ケース会議 13:30 降所
２９日(月)BB モフランさん来所 10:30～
３１日(水)内部研修

缶回収

9月、10月の納品額

合計　8,368　円でした。

ご協力有難うございました。

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

（9月14日～11月13日まで）

吉田さん、シルビアさん、正司さん、寺元さん、高橋さん、佐藤さん、高瀬さん、渡辺さん、仙台医療福祉専門学校3名、常盤木学園高等学校3名、幸町中学校3名、明成高校3名

実習生

ワンステップ実習：鈴木さん
日中活動支援交換研修：畠山さん
看護師交換研修：遊佐さん

見学・来訪者など

生け花：濱谷さん、音楽療法：向井田さん・菊池さん、BB モフランさん、多々良さん、地域生活諮問委員（下郡山さん、阿部さん、阿部(美)さん、飯塚さん、坂本さん、松永さん、岡本さん）、千葉出版印刷、日本環境衛生研究所、アーチル：西村さん、ジェイシーアイ：瀬戸さん、東京サラヤ、アドフォート、今庄青果、マルキ水産、マルイ、サトー商会、鈴木米穀、ダスキン、バイタルネット、小田島アクティ、ハート総合自動車、ニッサンサティオ宮城、サラヤ、セコム、日本テクノ：安田さん、つどいの家・コペルより小岩秀子さん、ブドリグループ、オリザグループの皆さん、まんさく工房、どうわ保育園の皆さん、宮城県立視覚支援学校の皆さん、翔の会の皆さん、求職者見学(仙台白百合大学)
法人職員：理事長、佐吉、飯田、渡部、秋男、福地、若生、可野、小林、澤村、佐藤(靖)、山口、加藤(仁)、小原、児玉、今野、佐伯、檜山、高杉、加藤(裕)、佐藤(瞳)、後藤、蜂谷、木村、元木、他多数　(以上、ご芳名順不同)

編集後記

11月に入り、肌寒い季節になりましたね。急激な気温の変化で、体調を崩してしまう方もおられるかと思います。ちらほらと、インフルエンザ流行の声が聞こえ始め、例年よりも早いような気がしています。そんな時こそ、加湿が大事ですね。さんしょグループでも、新しい加湿器を購入しようと、電気屋さん巡りをしている所です。高性能の加湿器をゲットし、インフルエンザに負けないように体調管理をしっかりしていきたいと思います。（記：佐藤唯）